

東大阪市のごみ事情



環境にやさしい ごみを出さないまち東大阪
～ 環境負荷がより少ない持続可能なまちを目指して～

毎日の暮らしの中でごみは必ず出るものです。しかし、排出されるごみの量や処理にかかる費用は案外知らないものです。わたしたちが住む東大阪市の“ごみの事情”は、いったいどのようになっているのでしょうか。

◆ ごみの量は減少傾向 ◆

平成29年度に東大阪市で排出されたごみは約17万8千トンでした。これは25mプールに換算すると約318杯分になります。

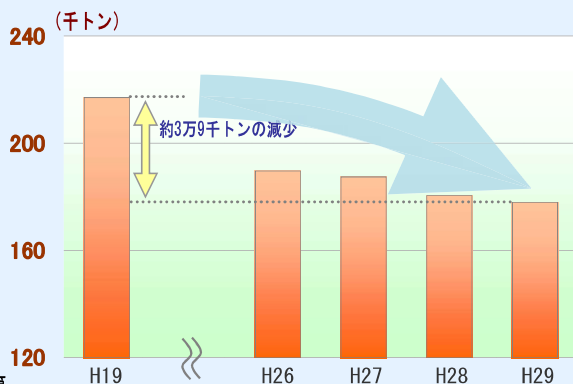
ごみ量は徐々に減少しており平成19年度に比べ、3万9千トン以上減少しました。

● 1人あたり1年間では

約 361 kg

※ 25mプール…560㎡(25×16×1.4)で計算

東大阪市のごみ排出量



◆ 平成29年度処理費用は減少 ◆

平成29年度にごみの収集・運搬や処分に必要な費用は以下のとおりです。

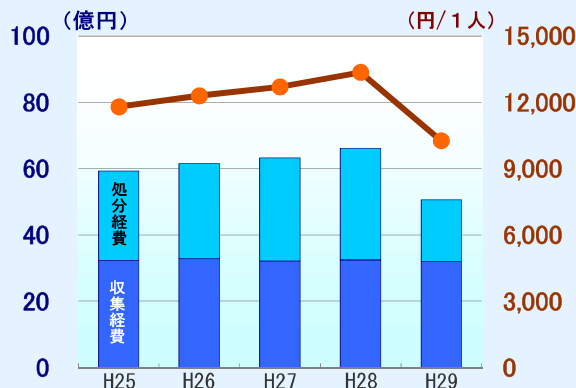
● 1年間の総額は

約 50億6,193 万円

● 1人あたり1年間では

約 1万281 円

ごみ処理にかかる費用



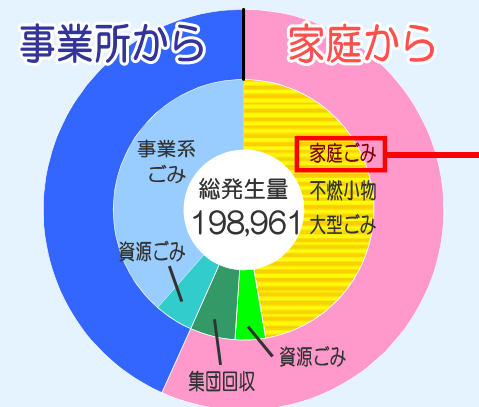
◆ 総発生量の14.5%を再資源化 ◆

平成29年度に東大阪市で発生したごみの内訳では、家庭から出された割合が約57%、事業所から排出された割合が約43%程度となっています。そのうち資源化されたものの割合は家庭系と事業系を合わせて約14.5%でした。

※ 集団回収…子ども会や自治会などによる古紙類などの自主的な回収

発生したごみの内訳

(平成29年度)



◆ 65%は資源化等が可能 ◆

平成26年度に実施したごみ質調査によると家庭ごみのうち6割以上が、資源化・堆肥化できるものという結果になりました。

リサイクルできるもの

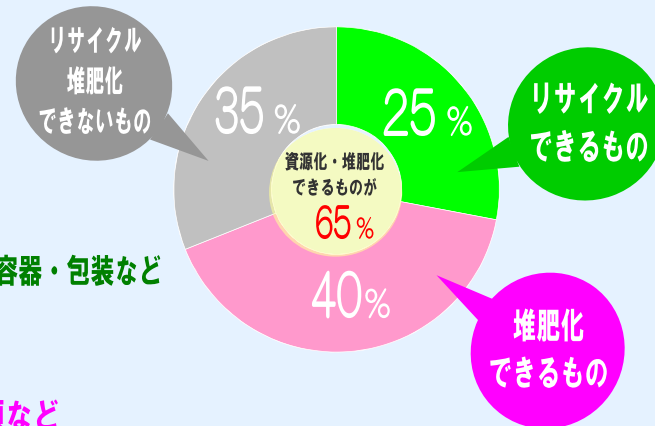
紙類、プラスチック製の容器・包装など

堆肥化できるもの

生ごみ、剪定した枝類など

家庭ごみの内訳

(平成26年度 家庭系ごみ質調査から)



リサイクルの流れ



家庭で分別された資源が再商品化されるまで
～ プラスチック製容器包装・ペットボトル編 ～

1

分別

2

収集

3

圧縮・梱包

4

再資源化

5

再商品化

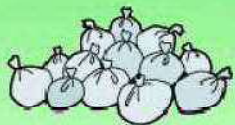
プラスチック製
容器包装



ごみと資源を分別し
決められた日に排出



東大阪市内の家庭



出された資源を収集し
保管場所へ搬入



収集車(パッカー車)



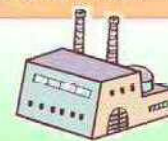
混入した異物を除去し
圧縮・梱包後に引渡し



保管場所・中間処理業者



資源を再生利用できる
原料などに加工・出荷



再資源化事業者



再生製品・商品となり
再び市場に流通



家庭や小売店、メーカー等



PET



ペットボトル